

ヒストリックバイク動態確認走行会の車両・装備・走行の手引き

発行 2024 年 4 月 18 日



Good Olddays のコンセプト『旧き良き時代～時間を超え語り継ぐ』を有形化したイベントです。参加される車両が生産された当時の姿・形を、現在から未来に継承することを推奨しています。参加者自身の車両でモビリティリゾートもてぎロードコースを走行いただけるプログラムです。安全に走行いただくために、モビリティリゾートもてぎにて定められたルールを守り走行してください。

■走行時間

- ・午前:ロードコース西コース(1.5km) 15分
- ・午後:ロードコースフルコース(4.8km) 20分



■参加資格

- ・小型以上の自動二輪免許所持者。(参加受付時に確認)
- ・MCoM(モビリティリゾートもてぎ走行会員)/SMSC(鈴鹿サーキット走行会員)でないお客様は、MS(もてぎ・鈴鹿)共済会への加入が条件です。

■車両の仕様

1)車両ゼッケン(マイゼッケン)

- ・**昨年や直近にグッドオールデイズもてぎの走行会に参加された方を優先として、ゼッケン番号を割当て(マイゼッケン制)しております。**

新規参加の方は、ゼッケンを割当てエントリーリストで参加者用ページに掲載します



2)ゼッケンプレート

- ①ゼッケンは、『前面・1箇所』、『側面・2箇所』 **合計3箇所**に取付けが必要です。
- ② プレートの材質は市販のもので、塩化ビニール、アルミ、スチール製のプレートを使用し、ボルト・ナットでしっかりと固定してください。
- ③ プレートと文字は対照色にしてください。
- ③ 書体は見やすいものを書体にてご用意ください。



3)燃料タンク

- ① 燃料、オイルタンクのフィルターキャップ等は、閉じた状態でガソリンやオイルが漏れることがないようにしてください。また、誤ってキャップが開くことのないようにしっかりとロックしてください。
- ② 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、ノンリターンバルブをブリーザーパイプに取り付け、キャッチタンク排出式としてください。
- ③ すべての車両は、その排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けてください。
- ④ キャッチタンク類は、転倒時に脱落・破損などでオイルやガソリンがこぼれたりしないように確実に取り付けてください。また、走行前には必ず空になっていることを確認してください。

4)各部のワイヤーロックについて(重要)

以下の部品には、必ずワイヤーロックあるいは割りピン等で緩み止めを施してください。

- ① エンジンおよびミッションの**ドレンボルト**(カートリッジタイプはカートリッジ本体)。
- ② オイル**フィルターキャップ**とオイルレベルゲージ。
- ③ 前後**ホイールスピンドル**、**ナット**および**Rピン**(割りピン)にワイヤーロック。
- ④ **エキゾーストパイプ**と**フランジ**の取り付けボルト、ナット。
- ⑤ **マフラー**の取り付けボルト、ナット。(フローティングの場合は本体をフレームに)

- ⑥ 前後ブレーキのトルクロッド取り付けボルト、ナット。
- ⑦ オイルエレメント取り付けボルト、ナット。



4)タイヤ

スリックタイヤの使用は禁止させていただきます。

5)ライダー装備

安全に走行を、お楽しみいただくために、定められた装備を、ご使用ください。

ヘルメット	フルフェイス(MFJ 公認モデル)
レーシングスーツ	レーシングスーツ MFJ 公認モデルで革製もしくはそれと同等の強度を有する素材のもの。
グローブ	革製もしくはそれと同等の強度を有する素材のもの。 着用時に肌が露出しないもの。
ブーツ	革製もしくはそれと同等の強度を有する素材のもの。
2 輪用エアバッグプロテクション	装着必須となります。 開催日に 23 歳～54 歳のライダーは装着を免除される。

・レーシングスーツ・レーシンググローブ・レーシングブーツの装備が義務となります。

※キズや破れがあるものは、お客様の安全を損なう為、走行をお断りする場合があります。



・本人確認シール

転倒・クラッシュの際、迅速に本人確認を行うために実施しています。

必ずヘルメット右側に貼付けて走行してください。

会員番号
氏名



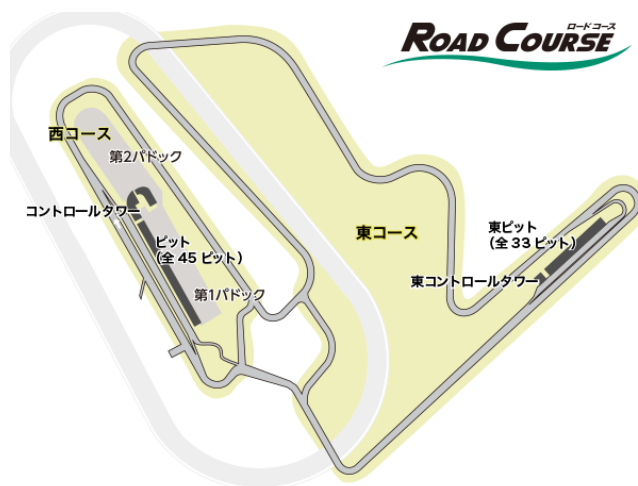
■コース

モビリティリゾートもてぎロードコース

1997年建設

FIM グレード A 公認サーキット

国内で唯一 2 輪世界選手権を開催する



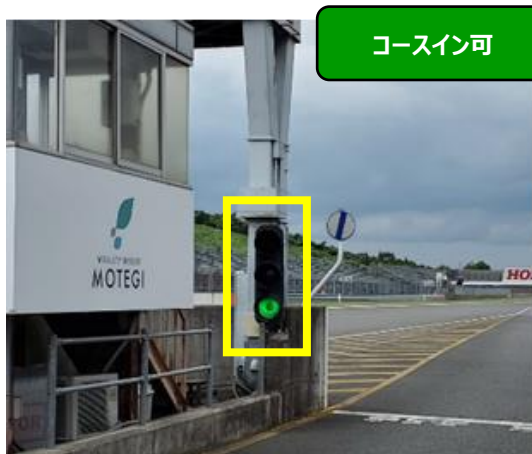
・午前の走行 西コース(1.5km)

・午後の走行 フルコース(4.8km)

■コースイン

・コースインシグナル

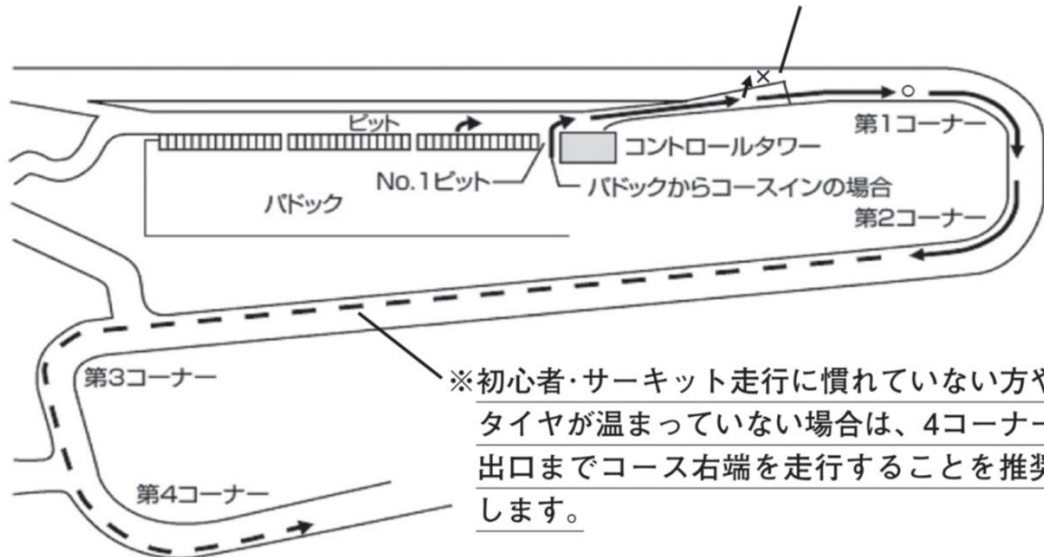
コースインする際は、係員の誘導もしくはピットロード出口にあるコースインシグナルに従いコースインしてください。



・コースイン

コースインしたら第4コーナーを過ぎるまでは必ずコース右端を走行してください。
また、レコードラインに合流する際は後方の安全確認を必ず行ってください。

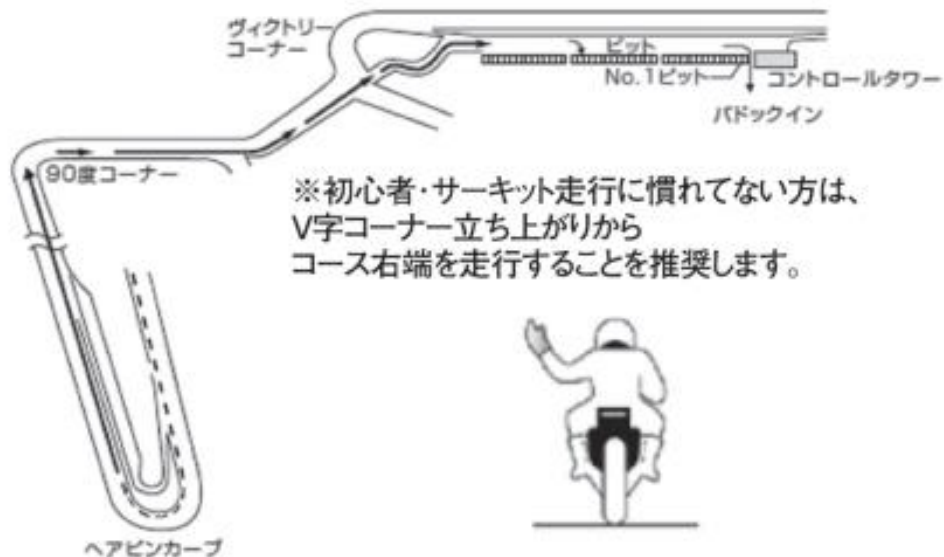
※コースイン時ホワイトラインを
カットしないように
コース合流してください。



■ピットイン

ピットインする際はヘアピンカーブからコース右端を走行し、
余裕があれば後続車両によく分かるようにピットサインを出しながら走行してください。

ピットインする際は、ヘアピンカーブからコース右端を走行し、余裕があれば後続車によく分かるようにピットインサイン（右ウインカー点滅もしくは手を挙げる）を出しながら走行してください。



■フラッグ

・黄旗(イエローフラッグ)

1 本の振動表示

その先にトラブル地点あり 危険。

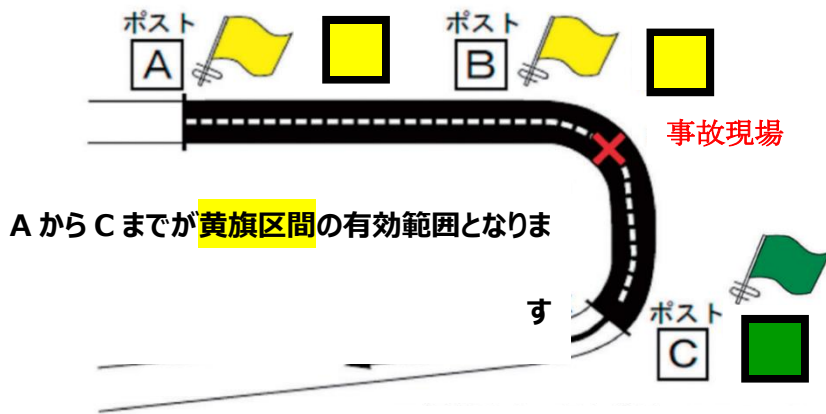
トラブル地点を回避できる速度まで減速し、注意して走行してください。

2 本の振動表示 ……2本同時に振動される

車両が走行ライン上に残ってしまった場合など、より危険な状況の場合表示。十分注意してください。

また、コース脇にてストップした車両の撤去作業中にも表示されます。

※黄旗区間では走行者同士の追越は禁止です。



緑旗、もしくはグリーンライトで黄旗区間解除

・緑旗(グリーンフラッグ)

①コースがクリアであること。
(黄旗区間が解除であること)

②コースイン 1 周目にオフィシャルが待機している
監視ポストから表示されます。

・赤旗(レッドフラッグ)

重大な事故が発生した場合に表示されます。

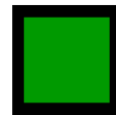
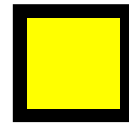
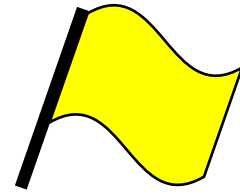
全車走行中止の合図です。

確認後は合図(手を挙げる・ウィンカーを付けるなど)を出し、右端走行をしてください。また赤旗提示中は徐行走行・追い越し禁止です。

最大限の慎重さと細心の注意を払いながら、必要に応じて停車できる速度で走行し、ピットインしてください。

※直線部分等では急激な進路変更を禁止します。

他の車両との接触原因となります。



・赤ストライプ付黄旗

フラッグが表示されている先でコース上にオイルが散乱している場合など、路面が滑りやすいことを表します。コース上に落下物がある際にも表示されます。注意して走行して下さい。



※赤ストライプ付黄旗の表示は 2~3 周のみになります。

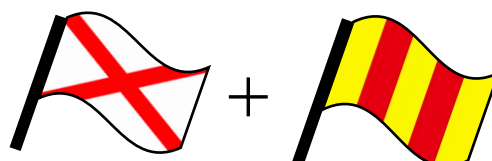


・レッドクロス

コース上で雨が降り始めていることを表します。

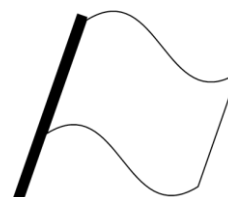
・レッドクロス+赤ストライプ付黄旗

レッドクロスと赤ストライプ付黄旗の併用で、雨の影響により路面が滑りやすい事を表します。

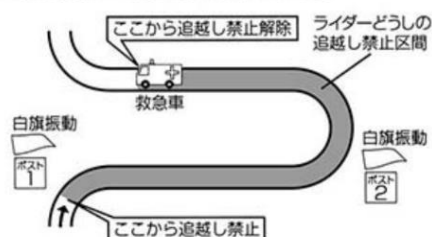


・白旗(ホワイトフラッグ)

コース上に緊急車両が入り、走行中であることを表します。注意して走行して下さい。走行車両同士の追い越しは禁止です。ただし、緊急車両を追い抜いた時点から走行車両同士は追い抜きが可能になります。

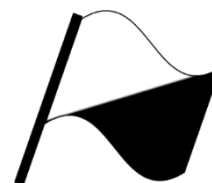


■白旗の基本的な出され方



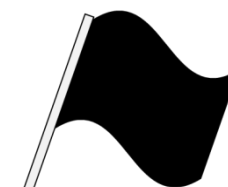
・ブラック&ホワイトフラッグ(白黒斜め2分割)

前方にスロー走行車両があるときに不動表示されます。スロー走行車両と走行ラインがクロスする可能性がある場合は、振動表示されます。



・黒旗(ブラックフラッグ)

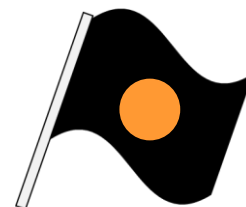
車両の番号と共に表示されます。車両にゼッケン番号がないスポーツ走行の場合は、ボードの代わりに指差しにて表示されます。表示された番号の車両は次の周回時にピットインし、スタッフの指示に従ってください。



・オレンジボール旗

車両のゼッケン番号と共に表示され、車両に機械的故障、火災またはその他の問題がある場合、または危険と思われる場合に表示されます。

車両にゼッケン番号がないスポーツ走行の場合は、ボードの代わりに指差しにて表示されます。



表示されたゼッケン番号の車両はフラッグを確認したら、ただちにグリーン等の安全な場所に車両を停車してください。

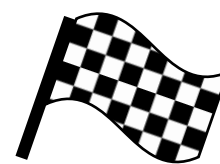
・チェッカーフラッグ

走行終了を表すフラッグです。

チェッカーフラッグを受けた後はコースを1周してピットインしてください。

チェッカーフラッグを受けた車両は、追い越し禁止です。

※チェッカーフラッグを受けた最初の車両から、黄旗を不動表示します。



■コース上でのトラブル

・何らかの理由によりレーシングスピードで走行できない場合(スロー走行)は、他の車両に注意してコース右端を走行してください。

■その他

・雨天の場合でも開催いたします。

・危険と判断した場合はご走行いただけない場合がございます。

以上